《令和元年度　会計課　組織目標の達成状況》

重　令和元年度予算重点施策に関連する項目には、「4. 課題解決に向けた令和元年度の具体的な取組」欄に、左の記号を記載しています。

◆目標管理者

会計管理者　北相模　政和

	1. 現状認識 （重点目標の背景となる現状・社会の動向・現場の課題など）		2. 重点目標		3. 目標達成のための取組と成果目標		4. 課題解決に向けた令和元年度の具体的な取組 【年度末実績】
1	・「第3次草津市行政システム改革推進計画」のアクション・プランに「公民連携手法の活用」および「内部事務の効率化」として、これまで外部委託が進んでいなかった業務について、段階的にアウトソーシングを導入することが位置づけられています。 ・総合窓口との一体的な推進は延期となりましたが、費用対効果を見極め、限られた経費の中で取り組みが可能な範囲での業務委託の検討は、引き続き課題となっています。	①	会計業務の段階的なアウトソーシング化に向け、継続して取組を進めます。	①	【取組】 アウトソーシングに向けたスケールメリット等の問題に対し、業務範囲や手法を再検討します。 【成果目標】 業務範囲や手法を再検討し、費用対効果のある委託に向け、関係課と調整しながら準備を進めます。	①	【取組実績】 先進地を視察し、他市の事例も参考にしながら、公金の支払手続きに係る支出命令書等の審査事務を中心に、処理件数・処理時間が多い定型的業務をできるだけ多くアウトソーシングし、効率的な会計事務処理が図れるよう、業務内容を精査し、委託化に向けた業務仕様書を作成しました。 【成果目標実績】 新年度に入ってすぐにプロポーザルを実施し業者を選定できるよう、行政経営課や契約検査課と協議しながら、仕様書や実施要領等を作成し、プロポーザル審査委員会を設置しました。 また、プロポーザルに向けた業務委託仕様書を作成しました。
2	マイナス金利政策の影響により、各種預金の金利等が下落しており、公金の運用には困難な状況が続くものと見込まれています。	②	今後の景気や金融政策の動向を注視しつつ、低金利の状況下においても確実かつ有利な公金運用に努めます。	②	【取組】 資金の管理、収入・支出状況を的確に把握し、公金を適正に運用します。 【成果目標】 日々、資金状況を把握し、より多くの資金を利率の高い定期預金等で運用できるよう努めます。	②	【取組実績】 歳計現金の収入・支出を的確に把握し、一般基金の一括運用を行う等、公金の適正運用に努めました。 【成果目標実績】 資金状況を見ながら、できる限り利率の高い定期預金等で資金運用を行いました。また、公金の中長期運用について、公金管理委員会の承認を得て新たに3年定年定期を開始しました。